

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第222号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月10日 08時40分ごろ	
発生場所	兵庫県赤穂港	
事故等調査の経過	平成21年7月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第五金勢丸<sup>きんせい</sup>、134トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 129092、有限会社詫間海運</p>	
乗組員等に関する情報	船長、六級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、塩化カルシウム約300トンを積載して赤穂港に到着し、荷役岸壁に向けて可航幅約14mの運河を航行中、出航してくる遊漁船を避けようと右舵を取ったところ、平成21年3月10日08時40分ごろ、浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風速 約1.0m/s、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし、潮汐 上げ潮の末期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、可航幅の狭い運河内を航行中、出航してくる遊漁船を避ける際、操船を適切に行わず、浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、赤穂港内の可航幅の狭い運河を航行中、遊漁船を避ける際、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	